

令和5年8月30日

学校長 豊岡 耕一郎

始業式の挨拶

皆さんおはようございます。夏休みは有意義に過ごすことができましたでしょうか。私は毎年のことですが、甲子園が終わりに近づいてくると夏休みも終わりかという事で悲しくなってくるのですが、皆さんとの正門での挨拶から始まって、こうして明るく元気な笑顔を拝見することで、さあ頑張ろうという気持ちになります。お互い頑張りましょう。まずは文化祭です。

今年は、いよいよコロナ前のような本格的な文化祭ができるという事で準備も大変になってくるでしょうが、時間を有効活用してクラス皆で協力して、クオリティの高いものを作り上げてください。1年生の演劇などは特に楽しみにしています。また今年は、保護者を始め卒業生や中学生など多くの方に来ていただくことにしています。来場して下さった皆さんがさすが雪高生と喜んでいただけるような文化祭にしてください。ただし、コロナウィルスは無くなったわけではありません。むしろ最近では増加傾向にあります。体調管理をしっかりとって、感染を広げないよう各自が節度ある行動をとってください

他にも2学期は、勉強や部活動、学校行事にと大変忙しい時期でもあります。特に進路については真剣に考えないといけない重要な時期です。先日、大学入試状況について話を聞いたのですが、最近では大学に進学した生徒の1割近い5万人ぐらいが中退しているそうです。理由として経済的な理由もあるのですが、一番多いのは勉強に対しての意欲や授業に対しての満足度が低いことが挙げられるそうです。つまり、自分の生きたい大学、やりたい学問を

しっかり調べて、それに向かって懸命に努力するという経験を積まないで大学に進学してしまった結果だそうです。それとは逆に、早い段階、2年生の秋頃から志望校を決めてそれに向かって努力した生徒の9割近くが第一志望に合格しているそうです。最近の生徒数の減少から、今まではマーチレベルに合格するためには偏差値が60以上ないと厳しいと言われていたが、昨年の例でいうと、50切っていても30%ぐらいは合格していたようです。国公立も受験科目数が増えることで倍率が下がり、後期日程では欠席率が65%を超えることから受かる確率が大きくなったそうです。結局、第一志望を最後まで諦めずに努力し続ければ希望が叶うという事です。どうでしょう。これを機にしっかりと考えてください。ただ、これを言うところから塾に行くぞとか、部活をやめてとか考える人がいますが、そういう事ではありません。今やっていることはしっかりと続けて、その上での話です。折しも今年は雪谷高校110周年の年です。良き伝統を受け継ぎつつ、次の10年に向けて雪高生としてのしっかりとした立ち居振る舞いを期待します。

最後に私事ですがこの夏休み、2つのアニメ映画を見にいきました。一つは「スラムダンク」で8月3日にわざわざ見に行きチケットをもらってきました。先日のWカップでも、敗戦が濃厚だった中、日本がフィンランドに逆転勝ちした試合を見ていましたが、アニメの世界が現実に行っているかのように感じて2倍楽しめました。もう一つは「君たちはどう生きるか」です。これはちょっと隙間時間があったので入りました。本校の図書館にもある吉野源三郎さんが書いたコペル君の話だろうと思っていたのですが、展開がどうも違う。描写からこれもしかしたらジブリ？とい

う事が後からわかるという宮崎ファンの方には大変失礼な見方をしてしまいました。内容はというと、正直何が言いたいのか良くわからなかったので、原作本の「君たちはどう生きるか」からのあくまでも推測なのですが、その本には何かをしなさいと書かれているわけではなく、ただ、自分の中にある弱い部分とか悪意の部分とかに目をそらさず向きあい、自分で考え、答えを出していくことが大切であり、その行為によってのみ大切な何かが生み出される、という事でしょうか。実際、君はどう生きるかと問われても、そんな大きな問いには私も答えられません。ただ、自分の弱さやダメなところとか、どうすれば心が落ち着くとか、気持ちが前向きになるとか、充実感を得ることとか、人が喜んでくれるとかは何となく分かっています。そういう目の前の小さなミッションを一つ一つクリアしていくことで、恐らく何かを生み出しているのではないかと考えます。同じようなことで、最近良く聞く「自分らしく生きる」も同様ではないでしょうか。私は自分らしく生きるという言葉が嫌いです。私も友人から良くお前らしいとか、お前の子供らしいとかよく言われましたが、お前らしいって何って思ったりします。良くわからない自分らしさを探そうとするのではなく、自分としっかり向き合い、考え、行動し続けることこそ、皆さんそれぞれの自分らしさだと私は思います。時間があればもう一回見に行ってみようかと考えていますが、皆さんも見に行く際は、原作本を見ておくことをお勧めします。

以上で始業式の挨拶を終わります。